

# 低圧進相コンデンサ

ニチコンの乾式低圧進相コンデンサは窒素ガスを充填し、SF<sub>6</sub>ガスを全く使用しない新しいタイプのコンデンサで、地球環境に優しく、また万一の事故時や火災発生時に出火や類焼の心配の少ない難燃性を特長とした防災形のコンデンサです。特に多くの人が集まり防災が重要視される、受変電設備や、地下変電所などでのご利用をお奨めします。

## 400 V級 防災形乾式低圧進相コンデンサ “GeoDRY®” オイルレス L=6%対応品

### 特長

#### 地球環境にやさしいコンデンサです

排出抑制対象ガスの一つであるSF<sub>6</sub>ガスに替え窒素ガスを充填した高性能、高品質品。火災に対する安全性が高く、鉛フリーはんだと脱塩化ビニルのエコ材料を使用した環境にやさしい設計です。

#### 高信頼性です

内部は自己回復性を有する蒸着電極方式を採用し、高い絶縁信頼性を有します。

#### 低損失です

誘電体に低損失のポリプロピレンフィルムを用いた省エネルギー形のコンデンサです。

#### 耐久性構造です

ケースは全溶接構造で、長期の耐用性・密閉性に優れた構造です。

#### 保護接点付です

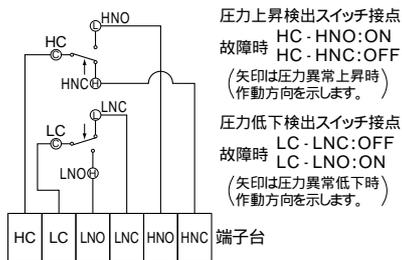
万一の内部故障発生時には、ガス圧の上昇を検知して動作する圧力上昇検出用保護接点(圧力上昇検出スイッチ)を装備しています。さらにこれにより電源から開放されなかった場合は、安全弁が動作してケース破裂を防止する安全性の高い製品です。また、万一のガス漏れなどによる圧力低下に対しては圧力低下検出用保護接点(圧力低下検出スイッチ)を設けて警報できるようにしております。



### 規格・性能

設置場所	屋内用、標高2000 m以下
周囲温度	-25 ~ +45 (24時間平均35 以下、1年間平均25 以下)
最高許容電圧	定格電圧の1.10倍(24時間のうち8時間以内) 定格電圧の1.15倍(24時間のうち30分以内) 定格電圧の1.20倍(5分以内) 定格電圧の1.30倍(1分以内) ただし、1.15倍を超える電圧の印加は、コンデンサの寿命を通じて200回を超えないものとする。
最大許容電流	定格電流の1.3倍、ただし静電容量の実測値が許容差の範囲内でプラス側のものは、その分だけ更に電流の増加を認める。
容量許容差	定格値に対して -5 ~ +15 % (三相の相間不平衡率108 %以下)
損失率	0.15 % 以下 (at 20 )
放電特性	端子開放後、その残留電圧を3分間に75 V以下にします。
塗装色	マンセル 5Y7 / 1色
保護装置	圧力異常検出スイッチ、安全弁付き
準拠規格	JIS C 4901(2000)

#### 圧力異常検出スイッチ接点



接点容量	圧力上昇検出	HC・HNO:ON	HC・HNC:OFF
	圧力低下検出	LC・LNO:ON	LC・LNC:OFF
	AC 250 V	1.0 A	1.0 A
	AC 125 V	3.0 A	2.0 A
	DC 100 V	0.1 A	0.05 A

圧力上昇検出スイッチの接点は、遮断器・開閉器の引き外し回路へ必ず接続してご使用ください。

#### ご注意

万一のガス漏れを検知するため、圧力低下検出スイッチの接点は遮断器・開閉器の引き外し回路、または警報回路へ接続してご使用ください。  
接点はNO(常時閉路)、NC(常時開路)のいずれも使用できます。また、圧力異常検出スイッチの端子は上図のように端子台に接続していますので、端子台より制御線を引き出してください。圧力スイッチ破損の原因となりますので、保護箱は取り外さないでください。

## 低圧進相コンデンサ

### 防災形乾式低圧進相コンデンサ “GeoDRY®” オイルレス L=6%対応品 400 V級 25 ~ 100kvar

#### 寸法図

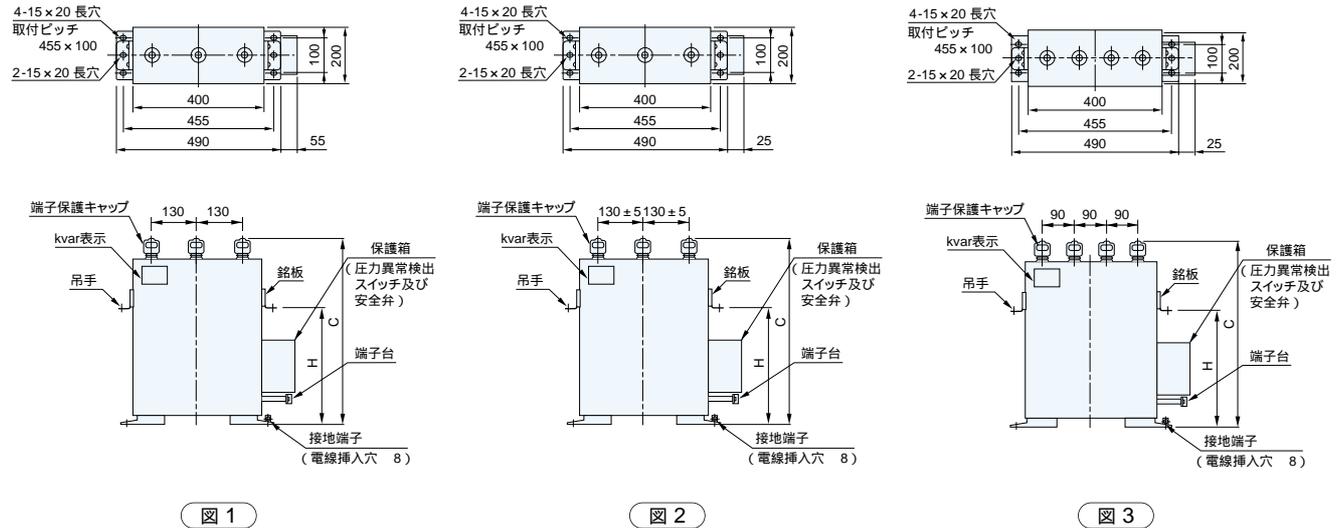


図 1

図 2

図 3

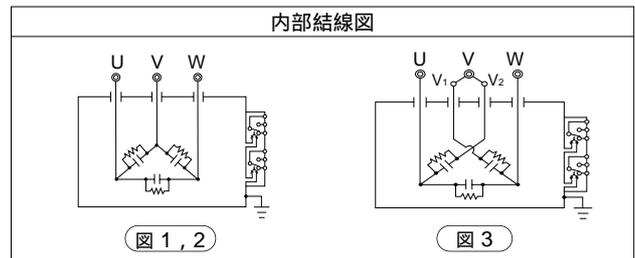
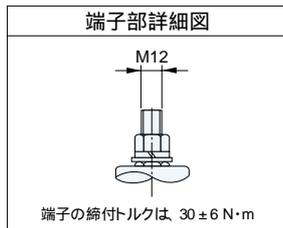


図 1, 2

図 3

出荷時、V<sub>1</sub>、V<sub>2</sub>端子は専用の銅板で仮接続しています。従って、ご使用の際は必ずこの銅板でV<sub>1</sub>、V<sub>2</sub>端子を接続し、V相としてご使用ください。

#### 定格寸法表

L=6%対応品 三相 屋内専用 放電抵抗内蔵 圧力異常検出用保護接点(圧力スイッチ)・安全弁付き

回路電圧 (V)	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格設備容量 (kvar)	定格容量		品番	定格電流 (A)	寸法 (mm)		質量 (kg)	図
				kvar	μF			C	H		
440	468	50/60	25/30	26.6/31.9	386	BF461310KC4	32.8/39.4	435	295	28	1
			30/36	31.9/38.3	464	BF461380KC4	39.4/47.2				
		50	50	53.2	773	BF461530KA4	65.6	565	325	36	1
			75	79.8	1159	BF461790KA4	98.4	835	545	53	2
			100	106	1546	BF461101KA4	131	965	675	62	3
		60	50	53.2	644	BF461530KB4	65.6	565	325	36	1
			75	79.8	966	BF461790KB4	98.4	695	455	45	2
			100	106	1288	BF461101KB4	131	835	545	53	3

- (注)1. 集合にてご使用になる場合は温度上昇を考慮してコンデンサ相互の間隔を80 mm以上離してください。
2. 端子部に力が加わらないよう結線は、フレキシブルな電線を使用してください。(銅バー等による直接接続は行わないでください。)
3. 回路電圧400 V、415 V、460 V品についても製作しますのでご用命ください。
4. 定格設備容量とは、コンデンサと直列リアクトルを組み合わせた設備の、定格電圧及び定格周波数における設計無効電力を示します。(ただし、定格設備容量は銘板には表示しません。)
5. 本製品は、下図の通り取り付けてください。

